

岡山大学 春季短期海外研修(現地プログラム) シンガポール・異文化体験プログラム



★募集期間★

2022年10月21日(金)～11月8日(火) 17時

★研修の概要

研修先：シンガポール
研修期間：2023年2月13日(月)～2月18日(土)
研修する言語：英語
募集定員：30名
参加費：約23.6万円 **★教員の引率あり**

奨学金(条件あり)
付与あり!

現地に渡航します!

★プログラムの特徴

**【異文化を感じ海外生活の
スキルを身に着ける!】**

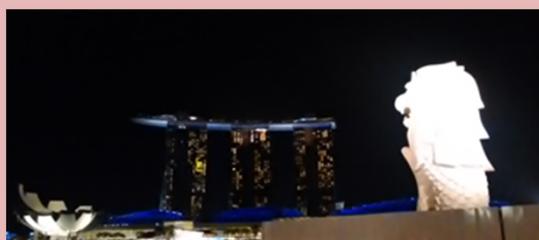
◆朝晩の英語によるミーティングと日中のグループワークで、海外で生活するためのスキルを身に着ける短期集中プログラム。

個別説明会開催!

※要・事前申し込み

10月28日(金)
12:45～13:15
C31教室

★参加申し込みはコチラ→



募集の詳細はコチラ↓

問い合わせ先：国際部 留学交流課 スタディ・アブロード部門
(一般教育棟C棟1階) 語学担当

TEL: 086-251-8552

Mail: ryugaku@adm.okayama-u.ac.jp



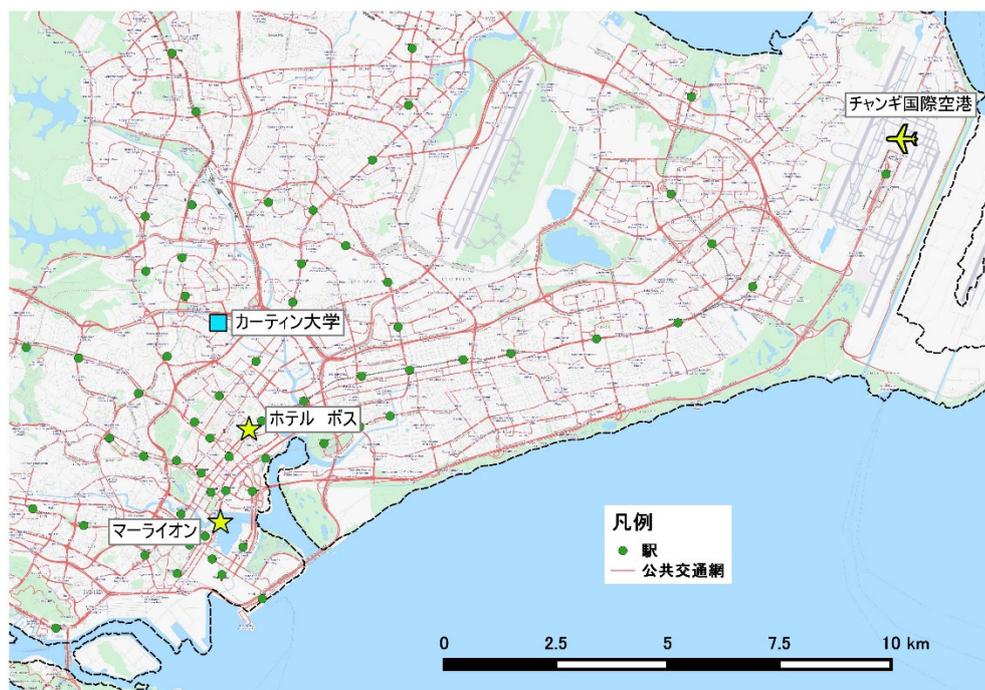
2022年度岡山大学春季短期海外研修 異文化体験プログラム

1. はじめに

本プログラムは、事前学習4時間、事後学習2時間現地での英語によるディスカッション、ミーティング等10時間（計16時間）から構成され、グローバルな社会で活躍できる人材になるため、海外で自分の力で動き・生活するスキルを身に付けることを目的としたプログラムです。

このためには、情報収集力、語学力、安全管理能力、健康管理能力等、様々な力が必要とされます。引率教職員は皆さんをサポートしますが、基本的に「自分で考え」「自分で行動する」こと「自分の身は自分で守る」が求められます。「教員引率のシンガポールツアー」でないことをしっかりと認識して、プログラムに臨んでください。

- ① 日程：2023年2月13日（月）から2月18日（土）（機内2泊、現地3泊）
【事前学習】2時間×2回 【現地学習】10時間 【事後学習】2時間×1回
- ② 場所：シンガポール
- ③ 目的：グローバル人材育成の基礎となる「海外で生活するスキル」を身に着ける
- ④ 言語：国内では日本語と英語の併用。現地では主に英語
- ⑤ 定員：30名+引率教職員1名（3～4名のグループを作り、グループで行動する）
- ⑥ 費用：約23.6万円（現地の食事や移動費用は含まない）
- ⑦ 現地での移動手段：公共交通機関（主に電車：MRT）
- ⑧ 宿泊施設：HOTEL BOSS（1名1室利用）
- ⑨ 地図：



出所：http://www.diva-gis.org のデータをもとに QGIS で作成

2. プログラムの構成

現地でのプログラムに加え、事前学習（2時間×2回）とシンガポールでの現地学習（10時間）、事後学習（2時間×1回）で構成されます。全体コースの流れは以下の通りです。



図：プログラムの流れ

（事前学習1回目：11/16（水）16：30～18：20 C31教室 日本語・英語）

グループ作り、目的の説明、安全管理の方法、コースの流れ、グループワーク、スマホアプリの使い方、課題について

（次回の事前学習までの課題）

- ① 国の歴史と経済、通貨、両替の方法、公共交通機関、移動の方法、食事等
- ② 行ってみたいスポット
- ③ 4日間の行程、移動方法、費用についてスライドに取りまとめる。
- ④ 体調管理の対策と対応について「個人」・「グループ」・「全体」のレベルで考える。
- ⑤ 危機管理の対策と対応について「個人」・「グループ」・「全体」のレベルで考える。

注）④と⑤の例として、以下のケースをあげる。p.3～4ページの情報も参考にして考える

疲労・頭痛	下痢・食あたり	高熱・極度な下痢	入院	盗難・スリ
				
カード被害	外傷	喧嘩	強盗	交通事故
				

(参考情報1) 地域別情報：シンガポール・マレーシア

気をつけたい病気

- シンガポール及びマレーシアの都市部以外では、水道水は、配管・貯水槽に問題があります。水道水は十分殺菌されていませんので、飲用には浄水器を通した後、沸騰させたものを使うか、ミネラルウォーターなどが望ましいでしょう。
- 魚介類は、[A型肝炎](#)や[腸炎ビブリオ](#)などの危険性がありますので、生で食べないようにしましょう。野菜や淡水魚は寄生虫感染の危険性がありますので、注意が必要です。[コレラ](#)、[細菌性赤痢](#)、[腸チフス](#)などの消化器感染症に気をつける必要があります。特に熱帯では、室温で細菌が繁殖しやすいので、生ものは避け、加熱されたものを冷めないうちに食べましょう。
- シンガポール、マレーシアともに[デング熱](#)が流行しています。また、[チクングニア熱](#)の報告もあり、雨期に最も流行します。シンガポールでは、[日本脳炎](#)の患者が発生するのはまれですが、マレーシアでは、一年を通して散発的に発生しています。特に、マレーシアのサラワク州では、10月～12月を中心に患者が多く発生しています。

[マラリア](#)は、シンガポールでは、サルマラリアが人に感染した事例が報告されているのみです。マレーシアでは、都市部や沿岸部で感染することはありませんが、ボルネオ島のサバ州やサラワク州の森林地帯の限られた地域、半島内陸部では感染するリスクがあります。また、熱帯熱マラリアや三日熱マラリアは薬剤耐性の報告があります。マレーシアでも、サルマラリアが人に感染した事例が報告されています。トレッキングツアーやエコツアーなどの自然と触れ合うタイプの旅行の場合には、虫除け対策をしっかりと実施してください。

- 東南アジアの熱帯地域では、カヤックなど水に関連するレクリエーションで[レプトスピラ症](#)にかかることもあります。2000年には、ボルネオ島での冒険レースに参加した旅行者が集団感染しました。また、[類鼻疽（るいびそ）](#)のリスク地域でもあるので、川で泳いだり、特に雨季に土に触ったりしないようにしましょう。

(出所) 厚生労働省検疫所 https://www.forth.go.jp/destinations/country/malaysia_singapore.html

(参考情報2) 犯罪発生状況、防犯対策

1. シンガポールは安全な国と思われがちですが、市内のレストラン、ショッピングセンターや路上あるいは空港等でも、置き引き及びスリが頻発しており、パスポートや金品の盗難被害に遭う日本人旅行者があとを絶ちません。また、日本人をターゲットにしたものかは不明ですが、日本人が深夜路上で凶器を突きつけられ金品を奪い取られる強盗被害も発生しており、警戒が必要です。
2. 次のような防犯対策・注意が必要です。
 - ・貴重品や多額の現金は極力持ち歩かない。また、パスポートと現金は同じバッグやポケットの中等に入れて持ち歩かない。
 - ・一人での行動時に注意する（特に夜間の単独での行動を慎むように心がける）。
 - ・自分の所持品は他人任せにせず、自分でよく注意を払う（例えば、ホテル、空港、土産品店等混雑した場所では、携行品から目を離さない）。
 - ・財布や貴重品はズボンの後ろポケットやバッグの外側など、盗まれやすい場所に入れない。
 - ・混雑した場所では、バッグ類は身体の前に抱えて持つ。
 - ・犯罪を誘発するような行動や態度をとらないよう注意する（例えば、支払いの際には財布の中身が安易に見えないようにする等）。
 - ・他人にパスポートを安易に渡さない。
 - ・遊泳中は、貴重品などをプールサイドやビーチに放置しない。
 - ・不審者がいないかなど、絶えず自分の周囲に注意を払う。
 - ・インターネットや携帯電話を利用した詐欺行為が横行しています。見知らぬ人からのメールや連絡には応答しない。
 - ・万が一、強盗に遭遇してしまった場合は抵抗をしない。
 - ・スマートフォン等を購入する際に小売店とトラブルとなるケースがありますのでご注意ください。
3. 滞在中の留意事項
 - ① 当地では商品購入に関するトラブルが多発しています。特に最近、邦人旅行者や在留邦人の方が、IT機器量販店でスマートフォン等を購入する際のトラブルが増えています。トラブルに至るまでの経緯は概ね次の通りです。
 - ア 気に入った機種を客に選ばせ、先に、携帯電話端末費用を現金やクレジットカードで支払わせる。
 - イ その後、事前に説明のなかったメンテナンス保証書、付属品、アプリケーションなどのプレインストール費用、OSライセンス、インターナショナルSIMカード等々名目で高額な追加請求が行われる。
 - ウ これら支払いを拒否すると購入した携帯電話端末の引き渡しを行わない。
 - エ 購入のキャンセル希望に応じない。費用返還請求にも応じない。
 - ② トラブルに遭遇した場合を含め、被害にあった場合の各種連絡先は次のとおりです。
 - ア シンガポール警察（SPF=Singapore Police Force）
Hotline：1 8 0 0－2 5 5－0 0 0 0
 - イ 消費者センター（CASE=Consumers Association of Singapore）
Hotline：6 1 0 0－0 3 1 5
Website：<http://www.case.org.sg/>

(出所) 外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/manual/singapore.html>

(事前学習2回目：2/1(水) 16:30~18:20 C24教室 日本語・英語)

- ① 各グループが発表。お互いを実現可能なプランかレビューしあう。
- ② 無事に現地でのプログラムを修了するための対策を考える

状況	個人での対応	グループでの対応	全体での対応
体調管理 ● 疲労 ● 下痢・食あたり ● 日射病・発熱 ● 入院 ● その他			
危機管理 ● 盗難・スリ ● カード被害 ● 喧嘩・強盗 ● 交通事故 ● その他			

- ③ スマホアプリの使い方、必要なもの等について質疑応答、集合場所の確認

(現地学習：10時間 英語)

日付	内容	宿泊
2月13日(月)~ 2月14日(火) (学習時間240分)	① 21:00 関西空港出発フロア集合 ② <u>オリエンテーション(日本語および英語60分)</u> ③ 23:25関西空港発→04:40チャンギ空港着(SQ623) ④ 体調についての確認 ⑤ <u>オリエンテーション(英語60分)</u> ⑥ 両替→MRTで移動→ホテル着→荷物を預ける ⑦ 体調についての確認 ⑧ <u>オリエンテーション(英語30分)</u> ⑨ 朝食(朝食は自由。周りのお店で調達もしくはホテルのbuffet) ⑩ 集合→MRTで移動(全員)→マーライオン見学 ⑪ <u>MRTの使い方を再確認(英語30分)</u> ⑫ 体調についての確認 ⑬ 昼食→グループ行動 ⑭ 18:00ホテル集合(点呼) ⑮ 体調についての確認 ⑯ <u>振り返り学習(英語60分)</u>	機内
2月15日(水)~ 2月16日(木) (学習時間240分)	① <u>9:00 当日の予定確認・ミーティング(英語60分)</u> ② 体調についての確認 ③ グループ行動 ④ 18:00ホテル集合(点呼) ⑤ 体調についての確認 ⑥ <u>振り返り学習(英語60分)</u>	ホテル
2月17日(金) (学習時間120分)	① 11:00チェックアウト→荷物をホテルに預ける ② 体調についての確認 ③ <u>当日の予定確認・ミーティング(英語60分)</u> ④ グループ行動 ⑤ 18:30 マリーナベイサンズ展望台 集合 ⑥ 体調についての確認 ⑦ <u>振り返り学習(英語60分)</u> ⑧ 全体行動(夜景ツアー) ⑨ 21:00ホテル戻り(点呼) ⑩ 体調についての確認 ⑪ 移動→チャンギ空港	機内
2月18日(土)	① 01:30チャンギ空港発→08:35関西空港着(SQ618)	

(事後学習：4/12(水) 16:30~18:20 教室未定 英語)

- ① 現地学習の結果をスライドに取りまとめて発表する
- ② グループごとの学びを共有する
- ③ 来年のコースに向けての改善点等について話し合い

3. 危機管理

本コースでは、引率教員とは、目視とGPSを用いたスマートフォンアプリ（Glympse）を用いて学生の危機管理をします。



図2 シンガポールにおける危機管理法

アプリを用いることにより、シンガポールに滞在中、教員は複数の学生グループの動きを、スマートフォン上で逐一確認することができます。また、学生グループも他グループの動きを確認することが可能です。

非常時は、メッセージおよび通話機能を使用し、引率教員が対応します。「歩きスマホ」による事故を防ぐため、止まってる操作を徹底してください。

4. 必要機材

スマートフォン、WIFI ルーター (SIM フリーのスマートフォンを利用する場合は不要)、予備バッテリー (WIFI ルーターやGPS は消費電力が大きい)